

Yoshihiro Kondo Piano Recital 2017

昨年、デビュー20周年を迎えた近藤嘉宏が贈るピアノ名曲コンサート。
バッハ、モーツァルト、ベートーヴェン、ショパン、リスト、ドビュッシー、ラヴェル、サティ…
時代を彩ってきた大作曲家達の傑作を、
近藤嘉宏ならではの卓越したテクニックと表現力、溢れる歌心で奏でます。

近藤嘉宏 Yoshihiro Kondo (ピアノ)

桐朋学園大学を首席卒業。その後ミュンヘン国立音楽大学においてゲルハルト・オピッツのもとでさらなる研鑽を積む。1987年日本音楽コンクール第2位。1992年ミュンヘン交響楽団との共演でデビュー、大成功をおさめる。1995年に国内デビュー、翌1996年にはCDデビューを果たし、一躍注目を集めた。以来日本を代表するピアニストとして第一線で活躍、Denon、Decca、Bellwood、Nami-Recordsなど数多くのレーベルから20タイトル以上のCD及びDVDを国内外でリリース、その内容はソロ、協奏曲、室内楽と多岐に渡る。

フェスティバルホール(大阪)における合計20回に及ぶリサイタル(1998~2008年)や1999年、ショパン没後150年を記念して全国各地で行ったツアーは驚異的な動員数と共に絶賛を博す。2001年、チョン・ミュンフン主宰「セブン・スターズ・ガラ・コンサート」に出演、チェロのジャン・ワンと白熱した演奏を繰り広げる。2005年にはデビュー10周年を記念しサントリーホールとザ・シンフォニーホール(大阪)でリサイタルを行い高い評価を受けるなど、着実にキャリアを積み重ねている。

2006年、ウィーン・ムジークフェライン・ブラームスザールにおいてリサイタル。2010年、プラハの音楽祭「International chamber music festival Euroart Praha」に招かれ、ショパンの協奏曲とシューマンのピアノ五重奏曲をマルティヌス弦楽四重奏団と共演。

2013年、シマノフスキー弦楽四重奏団とシューマン、ドヴォルザークのピアノ五重奏曲を共演し絶賛を博すなど、今後の国際的な活躍も大いに期待されている。

これまでにミュンヘン交響楽団、スーパーワールドオーケストラ、東京フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、大阪交響楽団、広島交響楽団をはじめとする、数多くの国内外のオーケストラに客演、ネーメ・ヤルヴィ、トーマス・ザンデルリンク、外山雄三、秋山和慶、広上淳一など多くのマエストロと共演を重ね、厚い信頼を得ている。

またプロデューサーにギタリストの鈴木大介を迎え、ベートーヴェンのピアノ・ソナタ全曲録音を2015年に完結。2013年にリリースされた後期ソナタを収録したアルバムでは、レコード芸術誌特選盤となり、深化した音楽性に高評価を得た。

またわが国を代表する弦楽四重奏団、クアルテット・エクセルシオと共演したCD「近藤嘉宏&クアルテット・エクセルシオ ブラームス&シューマンピアノ五重奏曲」(ナミレコードWWCC-7785)は音楽専門各誌で絶賛された。2015年12月にはデビュー20周年を記念して「近藤嘉宏ショパン愛奏曲集」をリリース。2014年より和光市民文化センターミュージック・パートナーを務める。

<http://ameblo.jp/yoshihiro-kondo/>



デビュー20周年記念アルバム!
究極のショパン名曲集! 好評発売中
「英雄ポロネーズ/幻想即興曲~
近藤嘉宏ショパン愛奏曲集」

BZCS-3086 (ベルウッド・レコード)
¥3,100 (税込)

●ショパン:ポロネーズ第6番「英雄」/
ノクターン第2番/ノクターン第20番
「遺作」/幻想即興曲/舟歌/エ
チュード第3番「別れの曲」/エ
チュード第12番「革命」/ワルツ第3番「華
麗なる円舞曲」/ワルツ第6番「小犬の
ワルツ」/ワルツ第7番/プレリュード第
4番/プレリュード第7番/プレリュー
ド第15番「雨だれ」/バラード第1番

